

平成29年度

酒田幼稚園のご案内



子ども達の輝く未来のために

子ども達は、初めての集団生活の場で様々な経験をします。
成長の礎となるもっとも重要な幼児期に、
他者とのかかわりを持ちながら自分の抱く好奇心や探究心を膨らませ、
発見・展開・葛藤・喜び・満足・感動、
そして、豊かな発想や言葉から他者を認める尊い心を育むのです。

幼児期の教育で大切なこと

幼児期の教育の重要性は社会全体で認識されることとなり、法律（教育基本法）改正に結びつきました。社会性を培う時期だから・・・人格の形成に重要な時期だから・・・言語の感覚は幼児のうちに・・・等々。何れも的を射た言葉ですが、この大切な幼児期に何をすればよいかは熟慮が必要です。酒田幼稚園が期待する幼児期の成長は、子ども自身が人として自立することです。しかし、自立といっても幼児期ですから、望み望まれる姿はさまざまです。家庭が、子ども自身が、幼稚園が同じ思いで生活できれば最良でしょう。

諸説ございますが、子ども達の人格は6歳までに決まるといわれています。すべてではないでしょうが、根幹が決まってしまうのは事実でしょう。日本における教えの一つに、登龍館から発刊されている「”つ”のつくうちに」という家庭教育本があります。

「あらゆる創造には適期というものがありますが、こと人間教育に関しての適期は、「つ」が付くうちである。年齢を一つ、二つ、三つ・・・と数えるとき、遅くとも「つ」が付く九歳（このつ）までに、子どもをしつけるのが大切だ、ということです。「しつけ」とは、内なる規則にほかなりませんが、法律のような外なる規則とは違い、人間の生き方の基本をつくりあげます。」

「しつけ」とは、一朝一夕で成し遂げるものではなく、日々の生活の積み重ねの下で身に付きます。お子さんの‘人としての生き方’について、参考にしてください。

さて、酒田幼稚園で行われている教育は、9歳（小学校3年生）までの成長を考えた生活体験を中心としています。幼稚園でどう過ごすかも大切ですが、子どもが自主自立して就学後に意欲的な生活を送ることができるかが重要だからです。学ぶことへの興味関心は、就学後（特に3年生進級時）に大きな違いとなってあらわれます。OECD（経済開発協力機構）による国際調査では、「幼児期に良質な教育を受けた群とそうでない群を比較した場合、その後の生活（生涯所得）には歴然とした違いがある。」と結論付けています。

幼児期に適した教育とは、社会で共有される価値観をもった自立の芽生えです。お子さんの人格を形成する大切な時期、幼児期の教育を考えてみませんか。

保育の二ーズを受けて

山形県の認可を受け、学校法人立の認定こども園【幼稚園型】へ移行予定です。

2歳になった日からの入園が可能になります。

家庭の保育を補いながら、幼児期の教育へと繋げてまいります。

まずは、

安全・安心のもとで健康に過ごすこと

生活習慣を整えていくこと

集団生活に慣れること

幼児期の教育に繋がる生活を送ることを目指します。



学校法人酒田幼稚園

教育目的

心も体もたくましい子ども

めあてをもち、
美しい心とつよい体で、
たくましく生きる
子どもを育てる

教育目標

目指す子ども像

健康な明るい子ども
仲良く遊べる子ども
礼儀正しい子ども
思いを表現できる子ども
進んで学べる子ども

主体的に

酒田幼稚園では、
一人一人を大切にして
心の通い合う人間尊重と
調和の取れた教育を
大切にしています。

意欲と体力

社会性を

感性と表現

てんまり教室

子ども達の
知的な欲求を引き出し、
学習を進めようとする意欲や
初歩的な態度を育てる

ことばの教育

言葉で通じ合える環境を整え、
社会性を育てる

体育指導

運動を楽しむ、水に親しむ
目標をもってスポーツする
喜びを知る

教育の特徴

音楽指導

音で表現する楽しさと
力を合わせてつくりあげる
達成感を楽しむ

ことばの教育

言葉で通じ合える環境を整え、
社会性を育てる

脳の成長が顕著な幼児期こそ

言葉を知る適齢期

言葉に触れる独自の指導を展開



文字に親しみ会話の基礎を培う

コミュニケーションをとるうえでもっとも重要なのが言葉です。言葉で通じ合えない心の葛藤が幼児のトラブルのほとんどの原因です。しかし、日常生活の中だけで幼児が必要な言葉を習得していくのは非常に難しく、意図的な働きかけが必要になります。将来において、コミュニケーションで苦しむことのないよう自国語をしっかりと身に付けることは大切なことです。

「てんまり教室」との連携

「知能は幼児期に言葉によってつくられる」と言われるほど、幼児期の「言葉」は重要です。思考、創造、感受性の力は、豊かな言葉により育まれます。そして、言葉を知るのにもっとも適した道具が漢字と名文です。子ども達は、日常で取り組む「ことばの教育」で、日本語のリズムや豊かな表現に触れ親しみます。

指導にあたり、「漢字」を使って語彙を増やす取り組みをしています。「漢字」を教えるのではなく、「道具」として使って言葉を増やし、コミュニケーション力を高めることが活動の目的です。

てんまり教室

子ども達の知的な欲求を引き出し、
学習を進めようとする意欲や
初歩的な態度を育てる

幼児期に適した知的な取り組み「てんまり教室」
専任教師の指導による保育室とは違った特別な空間



就学を安心して迎える

幼児期の子どもの旺盛な知的な好奇心と向上意欲を高めるために、他では体験できない様々な活動を行っています。自分で学習を進めていく初歩的な技能や態度を養うことができるという考えのもとに、就学前の学習に即応した教材を計画的に取り組むことで、子ども達は自信をもって就学を迎えることができます。

2年間の活動を通して育成すること

(学校で学ぶために身に付けたい子どもの姿)

- ① 椅子にきちんと座り、正しい姿勢を保つことができる。
 - ② 人の話しを最後までしっかりと聞く。
 - ③ 学習の準備や後片付けを自分でする。
 - ④ 鉛筆の正しい持ち方や道具の使い方を知る。
 - ⑤ ひらがな・数字、一部のカタカナ・漢字の読み書きをする。
 - ⑥ 漢字混じりの絵本が読めるようになる。
 - ⑦ 分からないことは聞き、最後までがんばってやり通す。
- 年長児は4月から、年中児は6月から取り組みます。

2歳児保育



保育から教育への繋がりをめざし

認定こども園に移行する予定で準備を進めています。満3歳児クラスを2歳児クラスへと拡充し、2歳になった日からの入園が可能になります。

3歳児からの幼稚園教育への繋がりを考えながら、2歳児の生活（保育）を確保し、行事への参加も子どもの発達段階に合わせて配慮した取り組みを進めていきます。

体育・水泳指導

運動を楽しむ、水に親しむ
目標をもってスポーツする
喜びを知る

体を動かすことを心地よいと感じながら、
楽しさ、がんばりぬく気力と体力、挑戦する
ことの楽しさ、友達を思いやる心を育てる



幼児期の特性と発達段階を踏まえた意図的な指導

運動するための機能や能力の育成はもとより、
積極的にしかかわる、負けずにがんばる、繰り返し挑戦する、
みんなと協調する、最後までやり遂げる、達成感を味わうなど、
社会生活に必要な心情・意欲・態度の育成に繋がっています。

体 育 指 導	専任講師による体育指導を行います。
プール遊び（年長）	年間10回の指導を、光ヶ丘プールで行います。
（年中・少）	園内遊びで、水への恐怖心を取り除きます。

音楽指導

音で表現する楽しさと
力を合わせてつくりあげる
達成感を楽しむ

楽しみながら身に付ける本能を
知的に助長する指導。表現を楽しむ、
協力して達成感を味わう表現活動の充実



音楽に楽しく取り組む

音楽に合わせて歌う喜びを知り、
楽器を手にして音色を味わいます。
活動の中でリズム感を養い、表現力を培い、
みんなで音を組み合わせる合唱・合奏の楽しさを知ります。

本園では、全園児が音楽に触れる生活を送っています。
歌を歌って始まり、歌を歌って帰ります。
子ども達は自分のハーモニカを持ち、
リズム奏→部分奏で音を楽しみ、
ミックス奏→旋律奏で表現することを楽しみます。
さまざまな楽器に触れ、歌を歌い、演奏を楽しみます。
みんなでつくりあげることが喜びへと繋がるのです。

食育活動

安全・安心の給食と食育活動

食育は、子ども達の健やかな成長には欠かせない条件となりました。
単に食するだけでなく、作物を育てることや調理すること、
作ってもらった食・人への感謝の指導が大切です。
そして、自ら育てる活動が、命の大切さを知るきっかけにも繋がります。

完全給食を実施

- ・栄養士によるバランスのとれた給食を提供しています。
- ・季節の食材を使った行事食や郷土食料理も提供しています。
- ・嫌いなものでも友達と一緒に食べられるようになっていきます。
- ・食器の使い方、箸の持ち方、食事のマナーを覚えていきます。

栽培活動で命の教育

- ・作物の栽培や収穫、調理体験を通して食に対する興味・関心を抱かせます。
- ・作物を育てることを通して、命の大切さに気付きます。
- ・当番活動を通じ、働くことの喜びを感じます。



沿革

酒田幼稚園

明治 44年 私立酒田幼稚園を開園
大正 6年 現在地に園舎を設ける



昭和 12年 定員を150名に変更
2年 定員を200名に変更
21年 財団法人組織に変更
45年 学校法人組織に変更し定員を240名とする
46年 定員を270名に変更
50年 定員を320名に変更
55年 つみきの会(卒園児父母の会)発足
57年 分園により定員を200名に変更
61年 市営プール利用開始
3年 プレイスクール(預かり保育)開設
5年 てんまり教室を開設
12年 ことばの教育導入
14年 給食外部委託を開始
16年 園舎改築工事実施



22年 創立100周年記念事業開催
23年 つみきの会三十周年を迎える
25年 満3歳児クラス増設・定員を170名に変更
26年 全日の完全給食を開始
29年 認定こども園の認可を取得(予定)

酒田第二幼稚園

57年 酒田第二幼稚園開園定員120名で開園
プレイスクール(預かり保育)開設
61年 まつぼっくりの会(卒園児父母の会)発足
民営プール利用開始
平成 5年 てんまり教室を開設
12年 ことばの教育導入
14年 給食外部委託を開始
19年 園舎耐震補強・改修工事実施



23年 創立三十周年記念事業開催
25年 満3歳児クラス増設・定員を90名に変更
26年 全日の完全給食を開始
29年 認定こども園の認可を取得(予定)



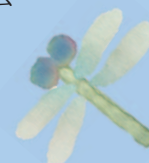
6月

あじさい見学
交通安全教室
保育参観(年長)
父母会親子レクリエーション
各科検診
誕生会



9月

祖父保育母参観
大運動会
秋のお茶会
誕生会



2月

豆まき
そりすべり
お楽しみ発表会
(2歳児~4歳児)
創立記念を祝う会
新入園児一日入園
誕生会



幼稚園の一年間をご紹介

4月

入園式
一学期始業式
お花見散歩
家庭訪問
新入園児歓迎会
よもぎ摘み
誕生会



5月

いちご狩り
各科検診
さつま芋苗植え
羽黒山（親子）遠足
てんまり教室保育参観（年長）
保育参観
避難訓練①
誕生会



7月

七夕お茶会
あじさい見学
避難訓練②
個別面談
父母会夏祭り
誕生会
一学期終業式
おとまり保育（年長）



8月

二学期始業式
誕生会



10月

防犯訓練
観劇（人形劇）
てんまり教室保育参観
秋探し散歩
さつま芋掘り
誕生会



11月

てんまり教室保育参観
避難訓練③
ちびっこコンサート
誕生会



12月

高齢者福祉施設訪問
個別面談
クリスマスパーティー
誕生会
二学期終業式



1月

三学期始業式
餅つき大会
こままわし大会
避難訓練④
誕生会

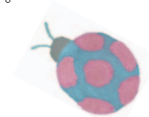


3月

お別れ発表会（年長）
お雛さま見学
お店屋さんごっこ
ひな祭りお茶会
新入園児保護者会
誕生会
修了式
卒園式



- ・ 行事予定は都合により変わることもあります。
- ・ 年長組は姉妹園との交流を行っています。
- ・ ちびっこ消防まつりにも参加しています。
- ・ 酒田まつり他、地域のお祭りにも参加しています。
- ・ ボランティア(最上川河川清掃)にも参加しています。
- ・ 協力農家さんの畑の収穫は、不定期で入ります。
- ・ 各指導は、年間計画によります。





募集予定人員

2歳児	(H26.4.2～満2歳)	12名
3歳児	H25.4.2～H26.4.1生まれ	30名
4歳児	H24.4.2～H25.4.1生まれ	10名
5歳児	H23.4.2～H24.4.1生まれ	若干名

「てんまりマーク」は、学校法人酒田幼稚園のトレードマークです。
一人一人の個性を色と大きさを示し、その全員が一つにまとまり、
球のように弾む子ども達の姿を表現しています。

これからの予定

9月 22日 (木)	大運動会
28日 (水)	ちびっこ広場 (たんぽぽあそびの会)
30日 (金)	ちびっこ広場 (保育見学)
10月 1日 (土)	平成29年度入園受付開始 (1号認定)
12日 (水)	ちびっこ広場 (たんぽぽあそびの会)
20日 (木)	ちびっこ広場
11月 19日 (土)	ちびっこコンサート
25日 (金)	ちびっこ広場 (たんぽぽあそびの会)
12月 13日 (火)	ちびっこ広場
1月 13日 (金)	ちびっこ広場
23日 (月)	ちびっこ広場 (たんぽぽあそびの会)
2月 3日 (金)	一日入園



お問い合わせ

酒田幼稚園

〒998-0035

酒田市寿町1-80

TEL 0234-22-0454

FAX 0234-22-0233

URL <http://www.sakayo.jp>

